

## 2025/2026 年度 第 2 回全国委員会 議事要録

日時：2025 年 09 月 19 日(金)–2025 年 09 月 26 日(金) 12:00

会場：メール(フォーム回答)

出席者(敬称略)：

地紙慎太郎[北海道地域]，加藤晃一[千葉地域]，下山朋幸[東京地域]，長坂和茂[京都地域]，吉田弥生[大阪地域]，徳田恵里[兵庫地域]，諏訪有香[広島地域]，柿原友紀[九州地域]，加川みどり[学術基盤整備研究](以上，グループ推薦全国委員)，  
楫幸子，松原恵，上村順一[記録](以上，常任委員)，  
青山史絵，西脇亜由子，渡邊伸彦(以上，常任(特定)委員)，

配布資料：

なし

議事：

議事に先だち，出席者数を確認した。全国委員の過半数の出席があったため，本委員会は成立した。

### 1. 報告事項

なし

### 2. 審議事項

#### 2.1. 学術基盤整備研究グループの一部メンバが「大学図書館研究会学術基盤整備研究グループ有志」を名乗ることの可否

- 学術基盤整備研究グループのグループ推薦全国委員である加川氏より発議があり，審議の結果，承認された。具体的な投票数は以下のとおりである。
  - 承認：14
  - 条件付き承認：1
  - 不承認：0
- 「条件」としては以下のとおりであった。
  - 事前に申請をし、常任委員会での承認を受けてから、使用とした方が良い
- 別途，以下のような意見があった。
  - 「大学図書館研究会 有志」なら全国委員会などで審議する必要があると思いますが、「大学図書館研究会 学術基盤整備研究グループ有志」であれば、別に全国委員会の承認はいらず、グループ内で承認されていればいいのではないかと考えます。

#### 2.2. 前項の「有志」の考え方を，今後もグループに適用することの可否

- グループの有志で成果物を外部に展開する際，前項での審議内容(以下の事項)を今後も適用してもよいか，事務局より発議があった。
  - 大学図書館研究会の名義を使用すること
  - 「グループ有志」という名義を使用すること
  - 名義を使用するにあたっては，当該者に確実に連絡がつくような手段を確保すること
- 審議の結果，承認された。具体的な投票数は以下のとおりである。
  - 承認：13

- 条件付き承認：2
  - 不承認：0
  - 「条件」としては以下のとおりであった。
    - 「...研究会有志」については提示の条件で問題ないと思いますが、例えば「...研究会 会員有志」の場合は特に制限を設けないなど、会員の自由な意思表明を阻害しないようにした方が良いと思いました。（できればそのことも明示できているとより良いと思います）
    - 有志以外の類似の文言でも使えるようにした方がよいように思います。
- 2.3. 「条件」の今後の対応
- 全国委員会 ML にて継続して議論する。

以上